



春日井ロータリークラブ  
2014～2015年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

# ロータリアンのフェロシティで、 世界・地域に、何か良い事をしよう！

植物園 ニュートンのリンゴの木

会 長：加藤 久仁明 例 会 日：金曜日12：30～13：30  
副 会 長：蓮野 美廣 例 会 場：ホテルプラザ勝川  
副 会 長：山田 治 事 務 局：春日井市鳥居松町5-45  
幹 事：近藤 太門 T E L：(0568) 81-8498  
会報委員会：長谷川 英輝 F A X：(0568) 82-0265

E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



## 本日のプログラム

- |              |         |        |
|--------------|---------|--------|
|              | 司会      | 和田 了司君 |
| ・点 鐘         |         | 加藤久仁明君 |
| ・ROTARY SONG | 「我等の生業」 |        |
| ・今月の歌        | 「冬景色」   |        |
| ・ビジター紹介      |         | 加藤久仁明君 |
| ・食事・歓談       |         |        |
| ・委員会報告       |         |        |
| ・祝 福         |         |        |
| ・卓 話         |         | 河村 哲也君 |
| ・幹事報告        |         | 近藤 太門君 |
| ・点 鐘         |         | 加藤久仁明君 |

## 今月の歌

冬景色  
さ霧消ゆる 湊江の  
舟に白し 朝の霜  
ただ水鳥の 声はして  
いまだ覚めず 岸の家

## 今月の祝福

### 会員誕生日

1日 早川 一郎君 4日 亀谷 鉦一君  
10日 清水 勲君 20日 伊藤 正之君

### 夫人誕生日

1日 大橋 完一君・恵子さん  
4日 足立 治夫君・知子さん

### 結婚記念日

4日 亀谷 鉦一君  
10日 高木 修君  
19日 場々大刀雄君

2015年1月23日(金)2216回(1月第3例会)

## アテンダンス表彰

24ヶ年 伊藤 純君  
21ヶ年 屋嘉比良夫君  
14ヶ年 風岡 保広君  
3ヶ年 加藤 宗生君  
1ヶ年 日比 雄将君  
" 芝田 貴之君

## 先週の記録

### 会長挨拶

副会長 山田 治君

本日は加藤会長が所要で欠席です。忙しい会長ですのでこれからもありうると覚悟しています。前回の欠席時は蓮野副会長が代行しましたので本日は私が会長挨拶を代行させていただきます。

5年前に会長を経験した時は、演壇からの挨拶は当たり前で何の躊躇もためらいもありませんでしたが、役を離れてから5年、お話しすることが正直、大変億劫になりました。

7月に卓話をさせて頂きましたが、大変ネタがイブな話をしました。(会報にも載りましたので)家内からも大分叱責を受けました。特に、「この3～4年間は無かったことにしてほしい。」との話をしましたら、その3～4年間に、孫も二人できたのではないかと取り消しを下さい！ということで大変に叱られました。反省をしています。正月にテレビで見た長嶋茂雄さんのように常に前向きに何でも都合よく考えるように軌道修正いたします。

さて、例会での会長挨拶は先輩からの言い伝えで、できるだけロータリーのことだけを話していれば良いという教えを頂いたことがあります。しかし、私が会長の時は、殆どがロータリー以外の話ばかりでした。その点、加藤会長はこの原則を守って毎回必ずロータリーの話がされます。私も

## ロータリー理解推進月間

例会予定	1月30日(金)	2月6日(金)	2月13日(金)	2月20日(金)
	卓話 都築 正道君	理事役員会 11:30	卓話 藪下 尚武君	祝福
	卓話 加藤 茂君	卓話 川瀬 治通君	卓話 朽本 正樹君	卓話 場々大刀雄君
		卓話 梅村 守君		

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：[ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp](mailto:ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp)

これに準じます。

さて、今月は「ロータリー理解推進月間」になります。考えようによっては一番難しいテーマかもしれません。虎の巻を調べたらこう書いてありました。「会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間です」と書いてありました。

入会して 20 年になりますが未だロータリーのことを詳しく説明することができませんが、最近一つ疑問に思っていることを短くお話しします。それは職業奉仕に関する考え方が最近、変わってきているということです。ロータリーは現在“青少年奉仕”が加わり五大奉仕から成り立っています。私が入会したときは「ロータリーは職業奉仕の団体である」と教わりました。それを証明する文献を紹介します。最近、何か疑問点があるときは「今さら人に聞けない“わかりやすいロータリー”」という冊子を読んで参考にしています。第 2650 地区の「マニュアル編集委員会」というところが発行しているのですが、ここの裏表紙のロータリーの樹と題するイラストにははっきりと職業奉仕が幹で後の奉仕は枝葉（えだは）になっています。つまり、職業奉仕が中心にあるということとして記されています。

ところが最近、R I は職業奉仕をなし崩しにばかり、職業奉仕を忘れ去って、ボランティア活動にのみ奔走しているように見える、とこの冊子には書いてあります。更に、“ロータリーの固有の奉仕理念は変えてはなりません。ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違う点は、職業奉仕の概念を持っていることです。日本のロータリークラブをあくまでも職業奉仕の団体として、守り育て行くことが大切です。最後に、“職業奉仕はあくまで個人奉仕、という原則は貫いていくべきである。”と結んでいます。

昨今、倫理観のなさから様々な不祥事をロータリーでも散見されます。これも多分、職業奉仕の理念がおろそかにされ倫理感や道德感が欠如したためと私には思われます。不易流行という言葉がありますが、根幹は変えずに枝葉だけを時代に即して変えていくことが肝要かと思えます。



## 幹事報告 幹事 近藤 太門君

山田倫章君卓話をありがとうございました。

今日は幹事報告は特にありません。

次週予告です。次週は祝福です。卓話は河村哲也君です。河村君よろしくお祈いします。

## ◎例会変更の案内

名古屋大須 RC	2月5日(木) 2月3日(土) 節分例会の為 大須観音
津島 RC	2月6日(金) 2月7日(火) IMの為 名鉄グランドホテル
名古屋みなと RC	1月30日(金) 1月30日(金) 夜間の為マリオットアソシアホテル
あま RC	2月9日(月) 2月9日(月) IMの為 名鉄グランドホテル

## ◎例会休会のお知らせ

○瀬戸RC 1月28日(水)は休会

○小牧RC 1月28日(水)は休会

## 出席報告 委員長 伊藤 純君

会員 60名	欠席 24名	出席率 60%
先々週の修正出席	—	—

## ニコボックス報告 委員長 古屋 義夫君

○本日は会長代行をさせていただきますので宜しくお願いします 山田 治君

○山田倫章君の卓話を楽しみにしています 近藤 太門君

○卓話をさせていただきます 宜しくお願いします 山田 倫章君

○卓話を聴く喜びで 小川 長君

○卓話が楽しみです 和田 了司君

○山田君の卓話を楽しみにしています 古屋 義夫君

○卓話楽しみです 峠 テル子君

○山田くんの卓話楽しみです 河村 哲也君

○山田くん頑張って！ 青山 博徳君

○いつも有難う御座います 大橋 省吾君

○今年も宜しくお願いします 朽本 正樹君

○卓話を楽しみにしています 川瀬 治通君

○本日も宜しくお願いします 足立 治夫君

伊藤 一裕君 梅田 英夫君

太田 弘道君 岡嶋 良樹君 亀谷 鉦一君

加藤 茂君 風岡 保広君 志水ひろみ君

芝田 貴之君 社本 太郎君 宅間 秀順君

名畑 豊君 成瀬 浩康君 早川 八郎君

林 憲正君 速水 敬志君 蓮野 美廣君

場々大刀雄君 森田 誠君 屋嘉比良夫君

○ご協力ありがとうございました。 古屋 義夫君

## 卓話 山田 倫章君



平成27年最初の卓話という大役を仰せつかり、大変恐縮しておりますが、新年に私が壇上に上がりライトを浴びるだけでオメデタイとおっしゃって頂ける方も見えるので、「縁起物」ということでお許しただければ幸いです。本日は貴重なお時間をたくさん頂戴しましたので2つお話しさせていただきます。

1つは個人的な話であり皆さんにとって価値がないかもしれませんが、「ロータリークラブと私」というテーマでお話しさせていただきます。もう一つは、折角の機会ですので私の仕事、電力・エネルギーに関して、一般的にはあまり知られていない、もしくは理解されていないことを、紹介したいと思っておりますので、『へー』と感じて頂ければ幸いです。

### I ロータリークラブと私

入社以来、大きな会社組織、その本店の小さな一つの歯車として働いてきました。もちろん歯車はロータリーの徽章にもなっているように大切なものではありますが、そこには連帯感や安心感といった感覚だけでなく、「誰かがやってくれる」という甘えや、「自分一人ではどうにもならない」というあきらめといった、サラリーマン特有のマイナスイメージがありました。そんな中、突然大きなピラミッドの頂上に近いところで仕事をするようになりました。その秘書時代に経験したことは、どんなにサポートがあっても、社長（サラリーマン社長でも）は孤独だということです。重要な決断を日々刻々迫られ、その責任をすべて自分で受け止めるしかない。特に、東日本大震災以降、東京電力の福島第一の原子力事故以降の大きなエネルギーを取り巻く環境の変化の中で、歴代の社長の中でもその責任は重いと近くに感じてきました。こうして一般サラリーマンとしては貴重な経験を経て、春日井営業所の所長として赴任したわけですが、私自身が感じたのは、本店時代の小さな歯車ではなく、遠くで動いている会社の歯車を見ながら、自分が動力となるという遣り甲斐と責任です。会社経営者の皆さんからしてみれば、全然軽いも

のでしかないかもしれませんが。一方で、本店の歯車時代には感じなかった「組織トップの孤独」を感じる場合があります。同期入社ですらこの気持ちを共有することができない。

私は幸運にして、春日井ロータリークラブへの加入が認められ、こうしてみなさんの仲間の一員として私の悩みを分かち合うことができています。ロータリークラブ設立の経緯も、孤独になりがちな各方面の職業の経営者トップ同士が喜びや悩みを分かち合う、そういう『仲間・フェロー』を造るということで原点あったと伺っています。私は『組織トップの孤独』をこのロータリークラブで解消するだけでなく、さらに、先輩方から奉仕に対する姿勢、精神を感じとり、多くのことを学ばせて頂いています。本当にとってもいい仲間であり団体だと思います。皆さんに刺激を受け、自分も新しいことにチャレンジしたいという気持ちがどんどん湧いて来ます。



先日、山口さんが、メキシコのお土産屋さんでの買い物で、ロータリーバッジが威力を発揮したという話をされました。これは世界中で通じる「共通の価値」。なかなか「社長」であってもいきなり信頼信用を得るのは難しい。「ロータリアン」というのは日本で政治家をしている、というよりも信用・信頼されるのかもしれませんが。

私自身も、約1年前に地中海のマルタへ短期語学留学に行った際、その例会会場となったホテルのフロントで、バッジに気づいたマルタのロータリアンから「君もロータリアンか！」と笑顔で話しかけられ握手したときに、とても感激したという経験をしました。

知らない人との人間関係構築には時間がかかるものですが、それが「ロータリアン」という太鼓判があることで、いきなり親密な関係ができるということが本当に素晴らしいと思います。これこそ、ロータリーが最終的に目指す世界平和に繋がる近道なのではないでしょうか。

少し余談になりますが、新しい挑戦として半年前

からジョギングを始めて春日井マラソンに出場しました。目標タイム 10km を 50 分だったが、お蔭さまで 45 分 33 秒というタイムで完走できた。速度換算すると時速 13 km/h です。優勝した方が 32 分位ですので 19km/h です。因みに完走は 70 分以内ですので、これは時速 9km/h 位で走らないといけないということです。トップアスリートのスピードは倍以上で本当に速いです。



## 現代人は機械やエネルギーの利用で便利な生活

でも車で考えると、時速 19km/h と 9km/h はあまり大した違いではないですよ。逆に考えると、現代人は機械の発明やエネルギーの利用でどれだけ便利な生活をしているかということです。江戸時代は東京から伊勢までお参りするのがブームだったそうですから、どれだけ一般の人が健脚だったかということですね。坂本竜馬も 31 歳に亡くなるまで 46000km 歩いたそうですから、地球を 1 周以上しているそうです。たった 150 年前までそういう生活をしていたと思うと、現代人はとんでもないスピードで環境変化して、もう 100 年すると SF の宇宙人のように頭がこんなので、手足がヒョロヒョロってなっているかもしれませんね。そういうことを感じるという点でも、原始的かもしれませんが走ったり、泳いだりと体を動かすことは大切なかもしれないと感じました。でもご安心下さい。現代人も健康で長生きすれば、一生に地球を 2~3 周するくらい歩くそうです。

### II エネルギー・電気の話

今この瞬間、地球を照らしている太陽の光は実は約 8 分前に太陽の表面で生まれたものです。光の速度 30 万 km/s でも、太陽と地球は約 1 億 5000 万 km 離れていますから、それだけ時間がかかるようです。では、この瞬間ホテルプラザ勝川さまを照らしている電気はいつ作られたものかご存知でしょうか。そう、答えは「今」です。電気のスピードは光とほぼ同じ、つまり 1 秒間に地球を 7 回半回る速さなのです。そして電気の特性として、『貯めることが出来ない』というのがあり、そのために絶えず使う電気の量に合わせて電気を作っています。この天秤のバランスが崩れると周波

数が乱れ、発電所がストップしてしまい、最悪のケースでは大停電となります。現在、太陽光の大量導入による弊害が話題となっていますが、通常発電側でバランスをとる作業を行っている所に、不安定な電気が入ってきてしまう事で、周波数が安定しなくなることが懸念されているわけです。太陽光の大量導入には金銭的な負担の問題もあります。現在認定されている設備が全て運開した場合、年間総額 2 兆 7 千億円、一般家庭の負担は年間 1 万円超と試算されています。ご家庭のお父さんの働いている工場の電気料金にも反映されますので、1 億 27 百万人の人口一人頭でわると、一人年間 2 万 1 千円、家のように 5 人家族だと年間 10 万円超の負担となります。これは将来の話ですが、既に権利が確定している分です。今後つくられる太陽光分はこれに上乗せされるということで、負担の軽減についても現在議論がされている最中です。

エネルギーの話は一筋縄ではいかないことばかりです。ドイツは脱原発を進め、再生可能エネルギーが 1 / 4 になるなど先進的ではありますが、実はまだ 15% も原子力に頼っているという事、それから二酸化炭素を大量に出す石炭に半分近くを依存しているなど、欧州内では矛盾していると批判されることがあります。

中国は、PM2.5 対策のために再生可能エネルギーとともに原子力開発を急ピッチで進めています。中国からの PM2.5 は嫌だけど、中国で原子力事故が起こるもの嫌ですね。日本で原子力事故が起こらなくても、中国で起こってしまったら、心配する意味がないと私は考えます。

最後にこれから、転職により春日井を離れることになっても、自分なりに奉仕を続け、また別の立場でロータリアンとして戻ってこられることを目指したいと思います。

問題: 今この瞬間にホテルプラザ勝川さまを照らしている電気はいつ作られた?

- A 約8時間前
- B 約8分前
- C 約8秒前
- **D 今でしょ!**

